

『交通安全のつどい』を開催しました

10月26日(火)に、兵庫県トラック協会東播支部、加古川警察署、加古川交通安全協会、加古川市自家用自動車協会、加古川市生活安全課、学校支援ボランティア(見守り隊)の皆様のご協力のもと、『交通安全のつどい』を開催しました。

平荘小学校の校区は、豊かな自然に囲まれた地域ですが、交通量の多い地域でもあります。子どもたちは、危険と背中合わせの状態、毎日登下校をしたり、放課後に行動したりしています。

そこで、加古川市の生活安全課を窓口とした『交通安全のつどい』を開催し、交通事故の防止・交通安全の啓発を行いました。

開会あいさつの後、子どもたちがいる運動場に、いきなり白バイとパトカーが登場しました。

【プログラム】

- 1 開会
あいさつ：平荘小学校長
関係団体紹介
- 2 白バイ・パトカーの入場
加古川警察署からのお話
- 3 巻き込み事故実験
- 4 記念品贈呈
- 5 閉会
あいさつ：平荘小学校長



うわーっ、びっくりした～！
 白バイにパトカーだ！
 カッコいいなあ。
 すごい！神戸から無線連絡が入ってきたよ。

子どもたちは、いきなりの白バイとパトカーの登場に驚きと興味を示しました。パトカーの無線を通じて、神戸の兵庫県警察本部の通信指令室から平荘小学校の子どもたちへ、「交通安全のつどいが有意義なものになるように」と「命を大切に、交通安全に気をつけましょう。」のメッセージが届きました。

その後、加古川警察署の交通官の方から、子どもたちに、交通安全についてのお話をさせていただきました。

【加古川警察署の交通官の話より】

- 歩くときは、右側を通行しましょう。歩道がある所は、歩道を歩きましょう。
 - 道路を横断するときは、①横断歩道を渡りましょう。②横断の際には、左右をしっかり確認しましょう。
 - 信号機の赤色は『とまれ』、青色は『進むことができる』を表します。
 - 自転車は、車の仲間です。皆さんが自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。
 - 実際に行動するときの3つの約束です。①とまる ②見る(左右) ③待つ(車が通りすぎるまで)
- ※車の陰からの飛び出しはしないこと。車は急に止まらない！



巻き込み事故実験をしました

巻き込み実験では、人に見立てたダンボールが道路ぎりぎりの所に立っているところを、4tトラックが交差点を左折する実験を行いました。

トラックのサイズは、長さ9メートル、幅2.5メートル、高さ3.5メートルです。トラックの内輪差がどれほどのものかを確認しました。(内輪差：車両がカーブを曲がる際に、回転中心側の前輪と後輪が描く円弧の半径に生じる差のこと) また、実際にトラックに乗せてもらい、トラックの中からダンボール(人に見立てた)がどのように見えるかも体験しました。(代表児童)



道路ぎりぎりに立ててあったダンボールは、トラックの内輪差により、巻き込まれてしまいました。

この実験から、交差点で待っている時は、道路ぎりぎりで待つのではなく、少し下がったところで安全に待つことが大事だとわかりました。



トラックの座席は、高い位置ですが、道路ぎりぎりのダンボールは見えません。



『交通安全のつどい』で学んだことを、実生活に生かし、安全な生活を心がけてほしいと思います。

関係団体の皆様、地域の見守り隊の皆様、ご協力をありがとうございました。

